

数字が苦手と勘違いしていませんか？

社長は会社の経営の舵取りです。それは社長しかできません。役員や社員、パートさんはできません。

経営の舵取りにおいて重要なものの一つに、会社の数字があります。

数字は定量と言われ、目に見えるものです。会社の経営状況がハッキリと見えるのが、この数字です。

会社の数字を見るのに一般的なものとして、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書（資金繰り表）があります。

この会社の数字は、人間に例えられます。

お金の流れは、血液です。血液の流れが止まってしまうと人は亡くなってしまいます。同様に、お金が無くなれば会社は倒産します。これは資金繰り表によって分かります。

また、体が健康かどうかを知るために健康診断を受けます。その診断結果（数字：健康診断書）で身体の中に異常がないかどうか分かり、異常があれば対策と改善をして、健康を取り戻します。

同様に、会社が健康かどうかを知るために会計ソフトに入力をし、その結果（数字：貸借対照表と損益計算書）で経営状況に異常がないかが分かり、異常があれば対策と改善をして、業績を取り戻します。

「体の健康と同じように、もっと知ってほしい！

資金繰りの大切さと数字で経営する大切さ」

数字が苦手と言っていた社長が、毎月数字を見ることによって数字に慣れ理解できるようになり、対策・改善を繰り返すことによって、目を輝かせるようになります。それを見て私は思いました。社長は数字という言葉が苦手なのだ。

ですので、数字が苦手と話す社長には、「勘違いしていますよ」と言ってあげたいです。

私が経営で大事にしてきたこと



Easy to Live & Works 社

社長 荷山信之
(佐久平支部)